

-about- 伊方町の概要

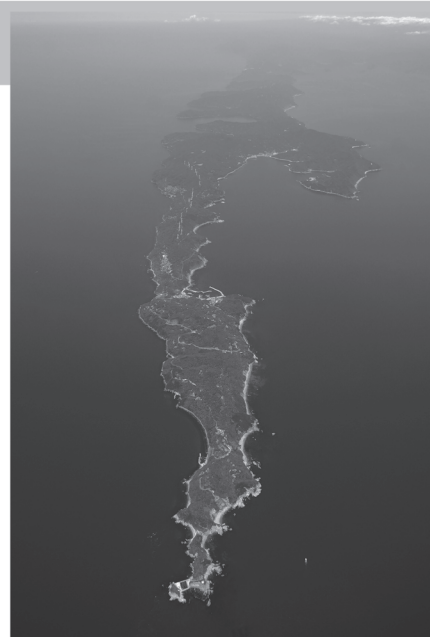
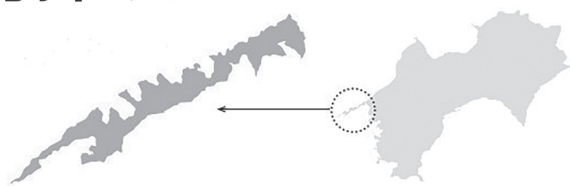


伊方町イメージキャラクター

サザンディー チビザンディー

四国の最西端、佐田岬半島に位置する伊方町。南の宇和海側はなだらかな白砂の連なる海岸、北の瀬戸内海側はリアス式海岸を形成しており、美しい自然の中に人々の暮らしが息づいています。

人口：8,901人
(令和2年12月末現在)
総面積：93.98 km²



-tourism- 伊方町の観光

長さ約50kmの日本一細長い佐田岬半島は、かつて「岬十三里」と呼ばれる交通の難所でしたが、今ではメロディーライン（R197）により快適なドライブが楽しめます。佐田岬半島の最先端にそびえる「佐田岬灯台」や県内最大の潟湖のほとりにある「亀ヶ池温泉」には、県内外から多くの観光客が訪れます。また、2020年5月にリニューアルオープンした「佐田岬はなはな」は、佐田岬の文化である「石垣」を随所に取り入れ、佐田岬半島の独特な地形や景観美に触れることのできる施設です。

佐田岬灯台



亀ヶ池温泉

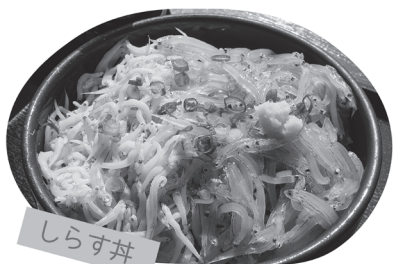


佐田岬はなはな



-local speciality- 伊方町の特産品

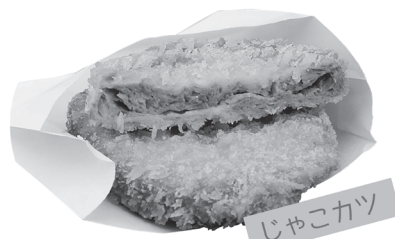
三方を伊予灘、宇和海、豊予海峡に囲まれた伊方町は絶好の漁場で、多種多様な魚介類が豊富に水揚げされます。中でも、宇和海で水揚げされたしらすを使った「しらす丼」は、生しらすと釜揚げしらすの2つの味を楽しむことができ、人気を博しています。また、段々畑で太陽の光を浴びて育った「温州みかん」や「清見タンゴール」、良質な土壌で育った「瀬戸金太郎芋」など山の幸も豊富です。これらの恵みにひと手間加えた「じゃこカツ」や「ちりめん」などの加工品は、土産物としても喜ばれています。



しらす丼



温州みかん



じゃこカツ

【お問い合わせ】伊方町総合政策課 ☎0894-38-2659